消 防 訓 練 実 施 計 画 報 告 書

年 月 日

備北地区消防組合

殿

報告者（防火管理者）

電話 _____

下記のとおり消防訓練実施計画を立てたので報告します。

防 火 対 象 物	所 在 地	
	令別表第1に掲げる区分	項
	名 称	
	代表者氏名	
	収容人員	名
日 時	年 月 日 時 分から	
訓 練 の 種 別	☐ 総合訓練 ☐ 個別訓練 ☐ 夜間想定 ☐ 消火 ☐ 避難 ☐ 通報 ☐ その他 ()	
訓 練 の 概 要	☐ 火災 ☐ 地震 ☐ その他の災害 ()	
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄

備考1. 複合用途（令別表第1(16)項）の防火管理者については「名称」及び「収容人員」について用途ごとに記入すること。

2. ※印は記入しないこと。
3. □印のある欄については、該当の□印にレを付けること。
4. 訓練内容に変更がある場合は、事前連絡してください。
5. 訓練を中止される場合は、必ず連絡してください。
6. 通報訓練を実施する前には、通信指令センター（0824-63-1191）へ連絡してください。また、通報の際は「訓練、訓練火災です。」と言ってください。

消防訓練報告に伴う注意事項

- 1 防火管理者は、消防計画に基づき消防訓練を実施しようとするときは、訓練を実施する3日前までに、「消防訓練実施計画報告書」により消防署長に報告（2部提出）してください。
- 2 防火管理者が行う消防計画に基づく消防訓練は、特定防火対象物（消防法施行令別表第1(1)から(4)項まで、(5)項イ、(6)項、(9)項イ、(16)項イ又は(16の2)項に掲げる防火対象物）においては、年2回以上定期的に実施する必要があります。また、特定防火対象物以外のその他の防火対象物にあつては、年1回以上実施する必要があります。
- 3 訓練内容については、特定防火対象物にあつては消火・避難訓練を年2回以上（うち1回は、通報訓練を含めた総合訓練が必要です。）実施してください。特定防火対象物以外のその他の防火対象物においては、消火、通報及び避難訓練（総合訓練）を年1回以上実施してください。
- 4 社会福祉施設及び病院並びにホテル・旅館の防火管理者は、年2回以上の消防訓練のうち、夜間における防火管理体制指導マニュアルに基づき、夜間を想定した消防訓練を実施する必要があります。
- 5 防災管理者は、消防計画に基づき避難訓練を実施しようとするときは、訓練を実施する3日前までに、「消防訓練実施計画報告書」により消防署長に報告（2部報告）してください。
- 6 防災管理者が行う消防計画に基づく火災以外の災害（地震、毒性物質等の発散）における避難訓練は、年1回以上実施する必要があります。
- 7 防災管理が必要な防災対象物であつて防火管理が必要な防火対象物はそれぞれの避難訓練及び消防訓練を必要とされる回数以上実施してください。
- 8 訓練内容に変更がある場合は、事前に連絡してください。また、訓練を中止される場合も、必ず連絡してください。
- 9 通報訓練を実施する前には、通信指令センター（0824-63-1191）へ連絡してください。また、通報の際は「訓練、訓練火災です。」と言ってください。
- 10 訓練終了後、「消防訓練実施結果記録表」を作成して3年間保存してください。消防署の査察において確認する場合があります。また、「消防訓練実施結果報告書」を消防署長に報告する必要はありません。結果報告書が必要であれば消防署長に報告（1部提出）してください。その場合は、「消防訓練実施結果記録表」を1部添付してください。